

2025 年度長期留学最終報告書

高知県立大学 文化学部
学籍番号：233086 沼尾絵里

1. はじめに

私は 2025 年度の 1 年間、高知県立大学の交換留学先である、国立木浦大学校のグローバルコミュニケーション学部 日本語日本文学科に留学しました。この報告書では、木浦大学校での留学生活の詳細や私が得られた経験について述べています。今後、留学を考えられている方のご参考になれば幸いです。

2. 木浦大学の授業について

韓国の大学は前期が始まるのが日本よりも早く、木浦大学も前期は 3 月の初旬に始まり、6 月中旬に終わりました。後期は 9 月の初旬から始まり、12 月の中旬に終わりました。1 学期あたりの長さはおよそ 3 ヶ月半で、本学より 1 ヶ月ほど短い期間となっています。授業は 90 分で 15 週あるのは日本と同じですが、1 つの授業につき週に 2 コマある点で日本と異なります。授業内で使用する参考図書は校内の書店で購入できましたが、ほとんどの授業で購入する必要はありませんでした。また、履修登録はネット上でできますが先着順のものもあり、私の場合、スポーツ系の授業は人気で履修できませんでした。

私が所属していた日本語日本文学科は人文大学にあたりますが、木浦大学は総合大学であるため、他に体育大学や音楽大学もあり、それに伴って授業内容も多岐にわたります。私は人文大学で日本文学や韓国近代史、米文学の授業をとったほか、ピアノの授業をとっていました。特に、本学は音楽学部がないため、マンツーマンで指導していただけるピアノの授業はとても貴重な経験になりました。また、日本と比較して教授ととても距離が近い授業もあり、教授の車でご飯に連れて行ってくださったり、一緒に写真館で撮影したりとたくさん気にかけてくださりました。さらに、日語日文学科の学生は日本語が驚くほど上手な人が多かったので（JLPT の N1 を取っていた学生も数人いました）、1 人で留学するのが不安な方も安心だと思います。出席確認は日本と同様に点呼や「ヘイヨンキャンパス」というアプリを通して行いました。

私が履修していた授業について、ここで簡単に紹介します。（時間割は以下の写真）

前期

- ・「近代日本の文学と社会」…夏目漱石「坊ちゃん」やなど近代の文学作品に触れながら、当時の日本社会に対して学びました。（中間・期末レポート課題あり）
- ・「ビジネス日本語」…日本の化粧品メーカー、SHIRO のラジオ番組の日本語を聞き取り、実際に韓国の特産品を使った商品案を考え発表しました。（中間・期末グループ発表あり）
- ・「現代日本文化と ICT キャップストーン」…大学内の博物館のリニューアルに伴い、研究施設

を訪れて文化について学んだり、博物館の展示品の説明の日本語訳をグループ活動で行いました。（中間・期末テストあり）

後期

- ・「英文学史」…イギリスの歴史や時代背景に触れながら、英文学作品について学びました。（中間・期末テストあり）
- ・「米文学史」…英文のテキストを読解し、アメリカの歴史上の出来事や当時の風潮と関連づけながら、英文学作品について学びました。（中間・期末テスト、個人発表1回あり）
- ・「韓国近代史」…韓国の近代における歴史について学びました。日本ともかなり密接に関係している歴史を学び、さらに難しい単語が多かったため個人的には一番難しい授業でした。（中間・期末テスト、レポート課題2回あり）
- ・「日本文学の理解」…古典文学作品について学び、作品の朗読や日本語訳も行いました。また、図や映像などからその時代の文化や習慣についても学べ、日本文学への理解が深まりました。（中間・期末テスト、グループ発表1回あり）
- ・「ピアノ実習Ⅳ」…自分で楽譜を用意し、先生と1対1で20分間の授業を受け、最後には受講生全体で発表会がありました。毎週個人で練習をする必要があるため、週末には数時間個人練習室で練習していました。（中間・期末テストあり）

前期				
T	월	화	수	
09				
10				일본문학의 이해 인문대학 3...
11	일본문학의 이해 인문대학 3...			
12		피아노실습 IV 창조관 10...		
13				
14	한국근대사 인문대학 3...		미국문학사 인문대학 4...	
15	미국문학사 인문대학 4...	영문학사 인문대학 4...	한국근대사 인문대학 3...	
16				
17				

後期					
T	월	화	수	목	금
09					
10		근대일본 의문... 인문...			
11					근대일본 의문... 인문...
12					
13					
14					
15		현대일본 문화... 인문...		비즈니스 일본어 인문...	
16					
17					

3. 渡航と寮について

渡航前には自分で飛行機の搭乗券の予約、ビザの申請、賃貸物件の退居や授業の期末課題など、することがとても多かったです。関西国際空港から釜山にある金海国際空港の便に搭乗し、無事に入国した後は、釜山で2日間ほど観光しました。ですが、私はこの時初めて韓国に来たので浮かれていたのもあると思いますが、釜山で財布を紛失し、クレジットカードも失くしてしまいました。これが後々、留学生活の中でかなり痛手となりました。その後、釜山バスターミナルからユースクエア（光州にあるバスターミナル）で木浦行のバスに乗り換え、木浦に到着すると大学の職員さんが迎えに来てくださっていました。その後、入寮の手続きを終え、外国人登録証の申請や銀行口座の開設なども行い、留学生活が始まりました。

寮では、下関市立大学から来た日本人の留学生2人と中国出身の留学生2人と同じ部屋でした。部屋は7階にあり、寮内には共用の冷蔵庫や洗濯室、談話スペースやジム、コンビニがあり便利でした。月に2、3回ほど点呼がありましたが、門限は深夜1時だったので、寮の規則に対して厳しくは感じませんでした。また、仲良くなった友人たちも同じ寮だったので、寮の食堂でほぼ毎日顔を合わせていました。寮の食事はバイキング形式で毎日辛い料理が続きましたが、おそらく日本人でも食べられるぐらいの辛さだと思います。食堂の職員の方々は私たち留学生をととても気にかけてくださって、韓国でのお母さんのような存在でした。

4. 大学のキャンパスや生活について

大学のキャンパスはとても広く、入口から寮までは歩いて20分ほどかかりました。寮から人文大学や図書館までは徒歩10分ほどで、校内では自転車や電動キックボードに乗っている人も多かったです。他には図書館、体育館やバスターミナル、ジムなどがあり、生活を送るうえで不便なことはほとんどありませんでした。また、韓国ではサークル（韓国語では동아리ドンアリという）に入るにはオーディションがあり、私もダンスサークルのオーディションを受けてみました。1曲を1人で踊った後、質疑応答をするといった内容で、合格をいただくことはできました。ですが、韓国のSNSで連絡を取り合う速度について行くことができず、実際の活動には参加しませんでした。

大学の脇にある通りには美容室やコンビニ、そしてカフェや居酒屋、ファーストフード店などの飲食店がたくさん並んでいて、よく友人たちと食事をしていました。とんかつやラーメン、うどんが食べられるお店もあったので、日本食が恋しくなった際は日本料理店をよく訪れていました。また大学の入り口の前にスーパーや携帯電話ショップ、100円ショップがあったので、生活用品はその付近で揃えていました。

校外に行くには、大学前のバス停やMNUスクエアというバスターミナルからバスに乗る必要がありました。バスに乗って20分ほどで、木浦の中心地や平和広場という繁華街に行くことができます。また、1時間ほど乗ると韓国の地方都市である光州の繁華街にも行くこと

ができ、小物や衣類を買いに行っていました。

5. 留学生活を通して

留学生活では本当に色々なことがあり、毎日がとても刺激的でした。授業の一環で、グループで塩田で塩づくりの体験やインタビューを行ったり、友人たちと花火大会や濟州島、麗水（ヨス）といった地方へも旅行に行きました。さらに、外国人向けの就職フェアに参加したり、学科の教授や学生でたこ焼きを販売したり、日本の長崎県にある対馬に研修で訪れたり、日本と比較して学校主催のイベントがとても多かったです。

そういった留学生活を送る中で、楽しいことが多かったですが、もちろん大変なこともたくさんありました。特に、人間関係のトラブルに巻き込まれた際は、相手との文化の違いや母語が異なるため、トラブルの解決が難しかったです。また、留学の初めは私の韓国語のレベルはとても低かったので、授業の内容の聞き取りはもちろん、韓国語で発言するのとても大変でした。そんな中、授業で一人でスライドを用いながら発表する機会も数回あり、さらにレポート課題も手探りの状態でしたが、その度に友人たちが根気強く教えてくれ、なんとか全部で21単位を取得することができました。その結果、留学後には韓国語の能力はTOPIK（韓国語能力試験）5級程度、日常生活は問題なく過ごせるレベルに達しました。これからも6級の取得を目指し、韓国語の勉強を続けていきます。

5. 留学前の準備と留学を始めた後におすすめしたいこと

留学を考えている方向けに、おすすめしたいことが3つあります。

1つ目は、日本でスマートフォンのメッセージアプリ「カカオトーク」の登録をしておくことです。私は韓国で登録したのですが、電話番号の認証等が複雑で実際使えるようになるまで数週間かかりました。韓国では連絡手段としてLINEではなくカカオトークが主流なので、数週間とても不便でした。

2つ目は、韓国で外国人登録証を受け取ったらすぐに、電話番号を契約することです。韓国で高速バスやライブといったチケットを予約するときは、必ずといっていいほど、電話番号が必要です。日本人留学生3人のうち、私が代表という形で電話番号を契約し、銀行口座の申請等で番号を記入していました。

3つ目は、自分の肌や体にあったシャンプーや薬、リラックスできるものを持っていく、または韓国で見つけておくことです。韓国の水は日本と硬度が異なるので、髪がギシギシになったように感じたり、その他にも風邪をひいたときに薬局が大学近くになく、とても困りました。また、日本とは違う環境下で無意識にストレスをたくさん受ける可能性もあるので、自分がリラックスできるもの（お菓子や毛布、枕等）を持っていく、または韓国で見つけておくことをおすすめします。

7. おわりに

これまで述べた内容からお分かりになると思いますが、留学を通して得られたのは、韓国語の能力だけではなく、たくさんの経験を通して人として成長できたという点もかなり大きいと思います。韓国は日本から見て海外ですが、実際人と接してみると本当に優しい方が多く、特に友人宅に伺った際はご家族がとても歓迎してくださったりと、国関係なく人のあたたかさにも触れることができました。そのため、今後はこの留学を通して得た経験を基に、韓国の友人や日本に来てくださる外国人の方々に恩返ししていきたいと思います。また、この留学の貴重な経験は、私が目指している日本語教師の仕事でも活かされると思います。

木浦大学校へ留学をするにあたり、たくさん支援してくださいました大学職員の方々や家族、そして友人や先輩方に深く感謝申し上げます。

